



## 住宅用火災警報器の維持管理について

住宅用火災警報器は家族や周囲の人達にいち早く火災発生を知らせてくれるものです。  
住宅用火災警報器の性能を維持するには、定期的な点検とお手入れをしましょう。

住宅用火災警報器の感知部分にほこりやクモの巣などがつくと、誤って警報を発したり、火災を感知しにくくなります。

お手入れをお願いしたい部分



**※この部分が重要！**

- ・火災等で発生した煙を赤枠の部分で感知し警報を発します。

煙の取り込み口にたまった  
ほこりやクモの巣を取りましょう



- ※ 乾いた布、汚れがひどい場合は固く絞った布などで拭き取ってください。

適切に作動するか  
確認しましょう！



- 住宅用火災警報器には点検用のボタンや紐がついています。「紐を引っ張る」「ボタンを押す」などして作動するか定期的に点検してください。

## 電池切れに注意しましょう

電池が切れた場合、住宅用火災警報器から音や光で知らせてくれる機能を有しています。

- ・ 電池寿命はメーカー、機種によって異なります。詳しくは取扱説明書を確認してください。
- ・ 住宅用火災警報器本体も。センサーなどの寿命により、交換が必要になる場合があります。本体は10年を目安に交換してください。詳しくは取扱説明書を確認してください。

